ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　　発行 ２０１２年１１月２９日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

３７号の主な内容
■国連ハビタットデー 福岡国際シンポジウム
■ハートフルフェスタ福岡に出展
■地球市民どんたく 2012 に出展
■ハビタットひろば　■運営委員からのひとこと
■今後のスケジュール
■事務局からのお知らせとお願い

第37号
http://cnhf.npgo.jp

## ■国連ハビタットデー 2012 福岡国際シンポジウム

Changing cities, Building Opportunities
～アジア、福岡の都市モデルについて考える～
というテーマで、世界ハビタットデー2012 福岡国際シンポジウムが、2012 年１０月 1 日、アクロス福岡の国際会議場で行われました。九州大学の趙世晨准教授と福岡市の光山裕朗部長による事例報告と九州大学の高田仁准教授をコーディネーターに、上記 2 人と氏原岳人さん、Bruno Dercon さんによるパネルディスカッションが行われた。

また、日本ハビタット協会からマリ・クリスティーヌ国連ハビタット親善大使と伊木事務局長も参加された。

福岡市の事例報告では、福岡は、住みよい街、住みやすい街だけでなく「可愛い街」にしようという提案があった。人口もコンスタントに増加していて、街全体がコンパクトで陸、海、空の玄関が、近接しており、活気にあふれ楽しく生活できる街として、また、「住みやすい都市」として評価をされているからです。将来人口は、今後 20 年は人口が増加、2030 年頃１６０万人という推計が立てられています。歴史としては、2000 年以上前から、大陸アジアとの交流の窓口となり、「福岡」と「博多」の 2 都が一体となった近代都市へと発展してきています。

ハビタットは、活動を活発化し、今の日本が不足しているものを、ハビタットの活動で、バランスのとれた居住計画・空間を作り、世界へ貢献していきます。アジアは、これから一段と都市化が進み、2050 年には、世界平均まで進展していく事でしょう。

アジアの特徴としては、人口密度が高く、アジアの中には沢山の大都市が発生し、隣国、韓国ソウルでは、70 年代、80 年代宅地開発が進み、新都市(ソウル周囲)がソウルから少しづつ離れ、建設されています。

日本と韓国を簡単に表すと、日本は Low density & spraw　韓国は High density & compact とも言えます。また、中国では、都市化が進み都市人口が増え、それと共に、問題（治安問題など）も有りますが、開発・発展に務めており、第二次産業中心の高度成長型都市として知られています。

インドネシアでは、第一次産業へ、そして、中規模都市、都市の人口に対し、消費、改善された水源が有り、新しい質の高い空間を作る事に努めているそうです。

そして、今回のハビタット・デー2012 福岡国際シンポジウムのまとめとしては、福岡では、コミュニティーづくりと市政執行のために、人材を必要とし、人口を増やす為には、リーダーシップを持ったリーダーを育成していく事が大事だと考えられています。また、課題のひとつとしては、あらゆるデータを必要とし、集めたデータをどう管理していくかが有ります。

アジアの都市に大事な事は、都市計画、市民からの意見聴取、各種問題の解決、成功への導き、開発と発展を達成する事です。

土地をいかに効率良く、いかに自然環境の破壊を最小限に抑え、バランス良く利用しながら、都市を発展させていくかが、求められています。

今回のハビタット・デー福岡国際シンポジウムに参加して、思った事は、自然環境を保持しつつ、アジアの都市問題を解決しながら、住み良い都市の発展、進歩を目指していけば、成功というターゲットに、近づいていくのではないかといいうことです。　　（中川 雅文）

## ■ハートフルフェスタ福岡に出展

市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日常的な人権感覚が身につけられるよう、また地域や関係機関・団体の交流・連携を図り相互理解を深めることを目的とした「ハートフルフェスタ福岡」が10月14日（日）福岡市役所西側ふれあい広場にて開催され、当会もブース出展しました。当日はオープニングセレモニー後、華やかな踊り、バンドによる演奏、こども太鼓、ボクシング元世界チャンピオン内藤大助さんによるトークライブ等のステージイベントが行われました。

当会ブースでは模造紙、パネルや資料を使って国連ハビタット福岡本部やその支援活動について紹介・広報活動していきました。

また、世界の各国コイン仕分けイベントを実施し、折り紙製祝い鶴・風船をイベント参加者に配布したため、特にこども達から喜ばれました。夢中になって子ども達がブース内でコイン仕分けを楽しむ姿はとても微笑ましかったです。

イベントに出展した他参加団体等との情報交換、会話・交流も楽しいものでした。

エンディング・セレモニーでは秋の快晴の下、他参加団体の方々と共にイメージソング「Sky」を合唱し、盛りだくさんの有意義で楽しくいい思い出となった一日となりました。（山前隆）

## ■地球市民どんたく2012に出展

11月10日と11日にかけて国際協力フェスタ「地球市民どんたく２０１２」が、アクロス福岡２階の交流ギャラリーおよびセミナー室で開催されました。

福岡都市圏の国際協力・国際交流にかかわるNGO・NPO等の団体が一堂に会し、市民の国際協力・交流への関心・理解を深めることを目的としたイベントです。

ハビタット福岡市民の会と日本ハビタット協会は共同でブースを出展し、世界のコイン仕分けワークショップを行ったり、いのちの水メッセージボードを設置し、来場者に想いを書いてもらいました。こどもたちをはじめ、多くの方に参加していただき、とても好評でした。

ブースには出展団体の支援国で作られた雑貨などが並び、訪れた人々は熱心に話を聞いていました。

民族衣装のファッションショーやチャリティーオークションが行われ、初めての試みに会場は盛り上がりました。福岡で活動を行なっているNGO・NPO等の他団体の素晴らしい活動を知ることもまた新たな刺激となり、勉強となった一日でした。（津留崎恵子）

## ■ハビタットひろば

国連ハビタット福岡本部が（財）福岡県国際交流センターと合同で開催している合同レクチャーシリーズ「ハビタットひろば」の報告です。

■第１０回「パキスタンでの活動」

２０１２年１０月１日（月）１８:３０～１９:３０にハビタットひろばが開催されました。国連ハビタット福岡本部の人間居住専門官ブルーノ・デルコンさん（ベルギー出身）がパキスタンにおける自然災害後の復興事業について概要と成果を講演しました。

パキスタンは人口約 1.8 億人、面積は日本の約２倍と大きい国です。大水害や地震等の自然被害が多い所です。人口が増えましたがインフラの整備がまだ十分に出来ていません。

最近の自然災害では、

①2005 年のカシミール地震で 10 万人が被災

②2010 年のパキスタン大洪水では 2000 万人が被災

③２０１１年のシン洪水では４００万人が被災

④２０１２年のシン等の大洪水では２５０万人が家を失う等の被害が出ております。

国連ハビタット福岡本部は、２０１１年のシン洪水（被害金額が１番多い）に支援をしました。そのほとんどが日本政府からの資金援助です。

コミュニティに復興を委ねる方法で行いました。それにより一体感が生まれ、新しいコミュニティを作ることができるからです。

コミュニティに復興計画を作って貰い、建設も行って貰い、国連ハビタットが必要なアドバイスをするというやり方です。

コミュニティ、集落全体の再建をする。井戸、トイレ、植栽、共同通路も整備します。現地にある石や木材などの材料、伝統工法で耐震性を備えた家やインフラを作りました。また、洪水を防ぐため１m位の土を盛り、その上に家を造りました。

地震、洪水の知識、防災教育も大事です。小中学校で双六の防災教育ゲームをさせました。このゲームを 10 万個作ってパキスタン全土の小中学校に配りました。ハードとソフトの両方の対策が大事とのことでした。

講演後の質疑応答も丁寧に行われとても気持ちのよい講演会でした。

そして、現地の人々が持続的に自立していけるように実施している国連ハビタット福岡本部の活動が大きな成果を上げていることがよく分かる講演会でした。

（佐竹芳郎）

## ■運営委員からのひとこと

**○佐竹芳郎**

新しいイベントも少しあってはいますが、毎年同じような活動をしていて、少しマンネリになっているのかもしれません。しかし、仕事も持っており、ボランティア活動に割ける時間も多くは無いので、楽しくやれること、少しづつ改善されていければそれでよいのかとも思っています。

私にとって毎回のニュースレターを皆で記事を書いて発行するのが一番楽しい行事になっています。

**○山口明巳**

毎年同じような行事を繰り返しながらも何かしら目新しい発見があり、進化も遂げていっている様な「福岡市民の会」です。この一見の価値ある会へどうぞご参加を！

**○大坪優美子**

今年の７月から仕事が決まったがよい仕事ではないのでまた仕事探しをしなくてはいけません。こうしている間にも、どこかでは飢餓や戦争で亡くなる人がたくさんいると思います。自分に何ができるかな？私は毎日神様に人々が平和に暮らせますようにお祈りしています。

平和とはいえない最近、だがまだまだ平和な日本。原子力発電所が倒壊して１年、子供たちに影響がでないといいのだが、実際は影響がで始めているように思えて・・・。便利さの追求の代償が大きすぎる。少々不便でもよいのでは？と個人的には思います。

ある一部の利権争いに巻き込まれて、戦争が起きる。一般の人々はただ毎日平和に暮らすことを考えてるのに・・・。

この世の中から戦いがなくなる日が来ることを願います。少しでもよりよい世界になることを願っています。来年も忙しい一年になりそうです。

**○津留崎恵子**

今年の活動で一番印象に残ったのは、昨年行なったラオススタディツアーの報告会です。素晴らしかったラオスの印象や心優しかった人々のことを少しでもお伝えしようと思い、プレゼンテーションを牟田さんにご指導頂きながら作成し、緊張しながら発表しました。

その後、国連ハビタット本部主催のハビタットひろばに急遽出ることになり、前回での反省をふまえながら取りまとめて発表しました。ハビタットで行われている活動やツアーの報告を市民の目線で皆さんにお伝えでき、来て頂いた方々に「良かったですよ」と言っていただけたことがとても嬉しかったです。

来年度も自分自身がさらに成長できるように新たなことに挑戦していきたいと思います。

**○山前隆**

市民の会での今年の自分の活動を振り返ってみると、前年と同じ事を繰り返していればそれで良しと思うところがどこかにあったかもしれません。もっと特には若い学生達と混じりあい刺激を受けながら、斬新で新鮮な発想、考え、方法を自分自身や会に吹き込めたらなァ、と思っています。

**○牟田慎一郎**

市民の会が発足して、もうすぐ 12 年になろうかというところですが、 2004 年には中断していたニュースレターを復活し、昨年久しぶりに、ラオスへのスタディツアーを実施し、来年は、ケニヤの国連ハビタット本部の訪問を計画するなど、スタディツアーの定例化も図っています。こうして徐々に活動を活発化することで、会の活性化を図りたいところですが、なにより必要なのは、それらの活動を支える人材の確保です。若い人に積極的に参加していただき、会の体力を高めたいものです。

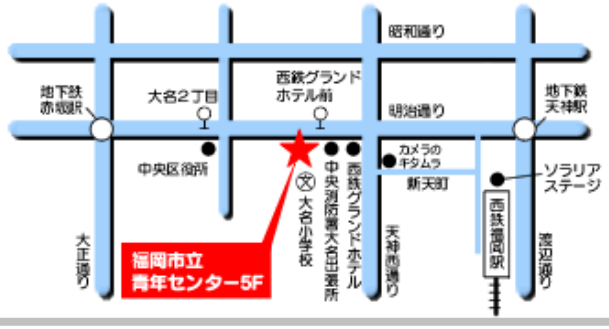
## ■今後のスケジュール

【2012 年】
11 月 28 日（水）9:00～13:20
　環境技術専門家会議　「水の技術」
11 月 29 日（木）9:00～13:00
　環境技術専門家会議　「持続可能な都市開発」
　14:30～18:00 アジア都市ジャーナリスト会議
　博多エクセルホテル東急 2F ソレイユ
12 月 1 日（土）18:30～19:30
　第 11 回 ハビタットひろば「スリランカでの活動」
　アクロス福岡 3F こくさいひろば
12 月 14日（金）18:00～21:00 グランチャイナ
　国連ハビタット福岡本部スタッフとの交流会
【2013 年】
1 月 17 日（木）19:00～ 定例会
2 月 21 日（木）19:00～ 総会・懇親会
3月 21 日（木）19:00～ 定例会、ニュースレター検討
4月１８日（木）19:00～ ニュースレター38 号発行
5 月 16 日（木）19:00～ 定例会
6 月 20 日（木）19:00～ 定例会
7月１８日（木）19:00～ 定例会、ニュースレター検討
8月 22 日（木）19:00～ ニュースレター39 号発行
9月 19 日（木）19:00～ 定例会

10 月　　ハートフルフェスタ
10 月 17 日（木）19:00～定例会
11 月9日～10 日　　地球市民どんたく
11 月 14 日（木）19:00～定例会、ニュースレター検討
11 月 28 日（木）19:00～ニュースレター40 号発行
12 月　　国連ハビタットとの交流会

**ケニアへのスタディツアーを検討中**
国連ハビタット本部があるケニヤのナイロビへのスタディツアーを計画中です。９月頃を検討しています。

☆上記日程は、変更になることもあります。
　直前に、ホームページでご確認ください。
定例会の会場は、原則として福岡市 NPO ボランティア交流センター「あすみん」（下図）で行います。定例会後、希望者による食事会も行っています。参加お待ちしてます。




## 編集後記

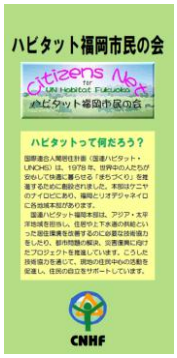
ちょうど、ニュースレターの発行時期に、国連ハビタット福岡本部の環境技術専門会議やアジア都市ジャーナリスト会議が行われて、編集時間が取れるかどうか心配でしたが、今回は、比較的スムースにみなさんからの原稿が出てきたので、なんとか予定通りの発行が出来ました。これで、１２月１日からのインド訪問に、心おきなく行けそうです。（S.M）

## ■事務局からのお願いとお知らせ

**●2013 年度年会費の納入のお願い**
　会報の発行や会の運営は、みなさんの会費で成り立っております。年会費の納入のご協力をよろしくお願いします。年会費や支援金の納入は、同封の郵便振替用紙でお願いします。金額を書き込むだけで、簡単にできます。手数料は不要です。
　**年会費　2000 円　（学生：1000 円）**
　郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
　加入者名義　　ハビタット福岡市民の会

**●会員およびボランティアスタッフ募集**
　ハビタット福岡市民の会の活動の企画・運営に携わっていただく、ボランティア（運営委員や会員）を募集しております。会員のみなさん方の近くで興味がある方がおられましたら是非、定例会やイベントなどへお誘いの上ご参加ください。とくに大学生など若い方々の積極的な参加をお待ちしております。
　入会申込書は、下記リーフレットに附属しています。
　必要事項をご記入いただきスタッフにお渡しいただくか、下記連絡先にファクスお願いします。

**●リーフレットのご利用を！**
　ハビタット福岡市民の会の会員やスタッフの勧誘、国連ハビタットの活動紹介などにご活用ください。
　当リーフレットは、イムズ 8F「レインボープラザ」、大名の福岡市 NPO ボランティアセンター「あすみん」、アクロス福岡 3F「こくさいひろば」にも置いています。郵送も承ります。必要部数を下記お問い合わせ先へご連絡ください。




**Lalith さん（スリランカ出身）が定年退職**

国連ハビタット福岡本部の上級人間居住専門官の Larith さんが、８月末を持って定年退職されましたが、12 月１日より、ふたたび福岡本部でお仕事をされることになりました。益々のご活躍をお祈りしたいと思います。ハビタット福岡市民の会の活動へも引き続きご協力いただけそうです。

## 事務局・お問い合わせは


**郵便物のあて先は：**
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん連絡ボックス２号
**お問い合わせは：**
TEL　090-6770-2481(牟田)
FAX　0942-41-2080
E-mail　muta@ktarn.or.jp
HomePage　http://cnhf.npgo.jp